

令和8年度 日野川流域水利用協議会

日時：令和8年8月5日（水）16時15分

場所：国土交通省日野川河川事務所（Web会議併用）

会議次第

1. 開会

2. 会長 あいさつ

国土交通省日野川河川事務所長

3. 出席者紹介

4. 議事

1) 日野川の流況及び天気予報について

2) 今後の取水制限率及び
菅沢ダムの方針について

5. 閉会

資料目次

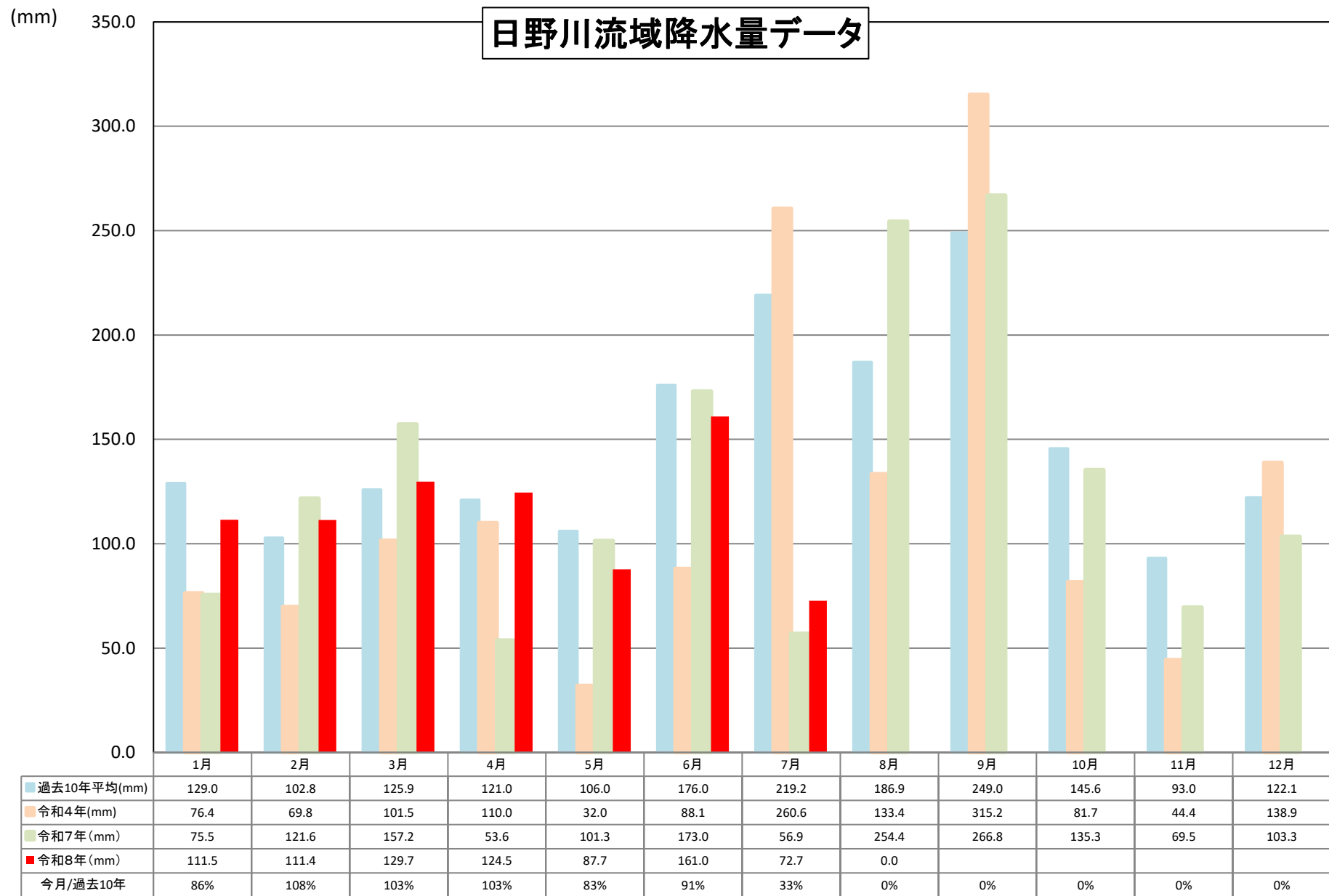
1. 日野川流域の降雨・降雪量 P 1
2. 車尾堰地点の流量 P 2
3. 菅沢ダムの貯水量等 P 3
4. 気象予測 P 4
5. 今後の取水制限率及び
菅沢ダムの放流量の方針について P 6
6. 渇水調整について P 9

日野川流域水利用協議会 出席者名簿

令和8年8月5日(水)

所 属	部 局	役 職	氏 名
国土交通省 中国地方整備局	日野川河川事務所	所長	國時 正博
農林水産省 中国四国農政局	中国土地改良調査管理事務所	所長	水上 徹
		企画課長	小川 裕司
鳥 取 県	県土整備部河川港湾局	河川課 課長補佐	森田 邦義
	農林水産部 農業振興局	農地・水保全課 課長補佐	村田 智史
		農地・水保全課 事務員	安藤 嘉朗
	西部総合事務所 米子県土整備局	維持管理課 課長	本池 彰
	西部総合事務所農林局	地域整備課 課長	森田 義明
	西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局	局長	藤井 優
	西部総合事務所 日野振興センター日野振興局	農林業振興課 農業振興室 室長	石田 郁夫
	企業局	工務課 課長	重光 卓
	※M&C鳥取水力発電株式会社	運転保守課	汐田 勇揮
	企業局 西部事務所	所長	竹歳 浩紀
米 子 市	総合政策部	都市創造課	欠席
	経済部	農林課 技師	虫明 真芳
	上下水道局 経営企画課	副技術監	和田 公司
		担当課長補佐	山根 康仁
境 港 市	産業部	農政課 課長	武良 収
南 部 町		産業課 課長	大塚 幸
伯 耆 町		産業課 行政専門員	草原 啓司
日 吉 津 村		建設産業課 技師	吉田 尚央
日 南 町		農林課 主事	塚田 尚矢
日 野 町		建設水道課 副主幹	瀬崎 将太
江 府 町		産業建設課 主事	赤井 響
米川土地改良区		理事長	安田 到
箕蚊屋土地改良区		理事長	田邊 雄一
西部土地改良区			欠席
尾高井手土地改良区		理事長	勝部 明吉
王子製紙株式会社	米子工場	工場長代理	児玉 二郎
		事務部 マネージャー	落部 千明
中国電力株式会社	東部水力センター	米子土木課 担当副長	柳楽 俊之
日野川水系漁業協同組合		副組合長	坂田 良典
事務局	日野川河川事務所	副所長	千田 裕司
		事業対策官	有満 命
		流域治水課 管理係長	仲谷 侑紀

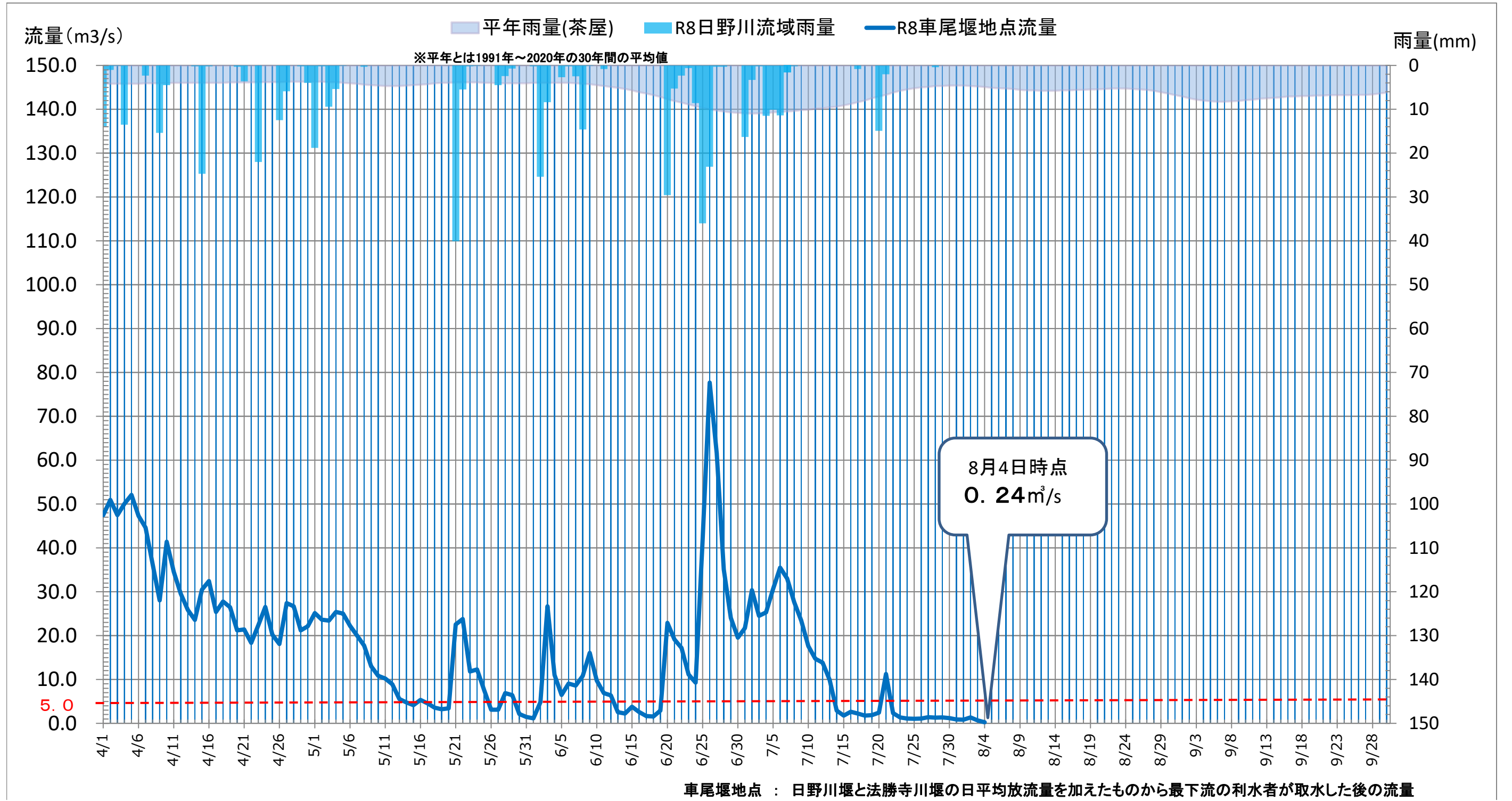
※鳥取県企業局のオブザーバー参加



※過去10年とはH28年～R7年の平均値

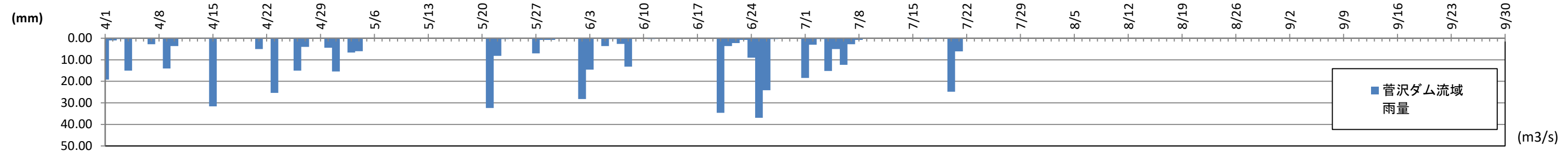
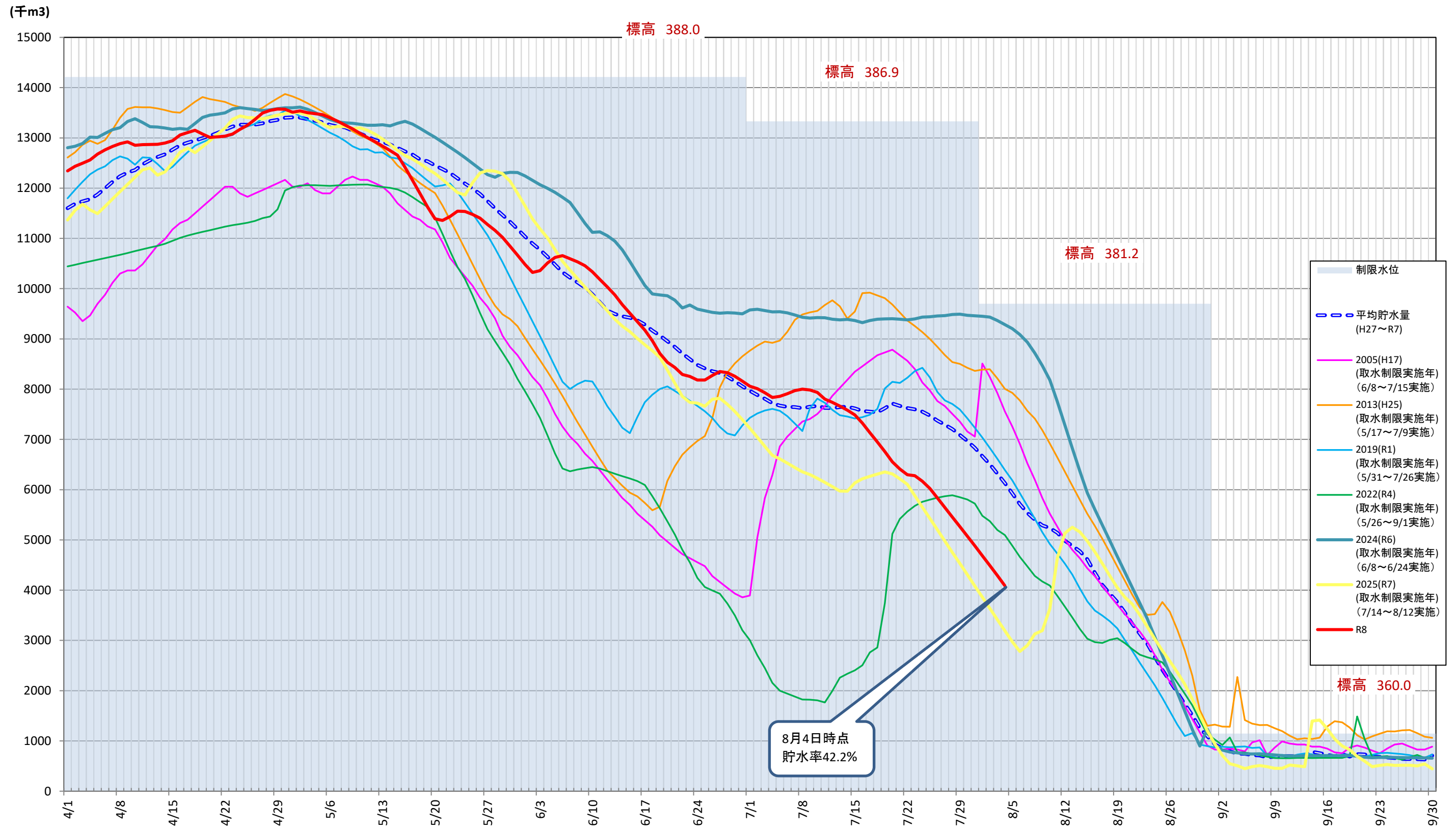
8月は8／4までの降水量

令和8年 車尾堰地点流量一日野川流域雨量 4～9月推移



菅沢ダム貯水率の推移

8/4時点



向こう1か月の天候の見通し 中国地方（8/1～8/31）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- 期間の前半は高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多いでしょう。

向こう1か月の天候

- 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

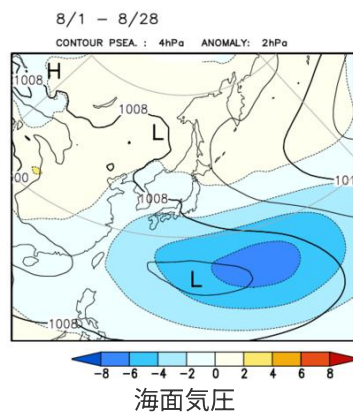
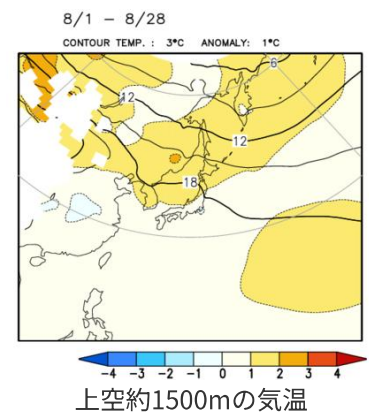
向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（向こう1か月）	降水量（向こう1か月）	日照時間（向こう1か月）
中国地方	山陰	低10 並20 高70% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	山陽		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
数値は予想される出現確率（％）です		平均気温（1か月） 低い確率（％） 50 40 40 50 高い確率（％） 以上 平年並も40 以上	降水量（1か月） 少ない確率（％） 50 40 40 50 多い確率（％） 以上 平年並も40 以上	日照時間（1か月） 少ない確率（％） 50 40 40 50 多い確率（％） 以上 平年並も40 以上

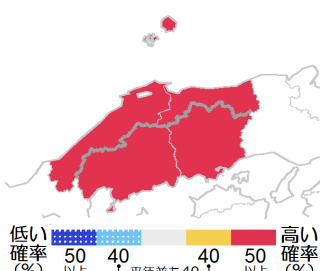
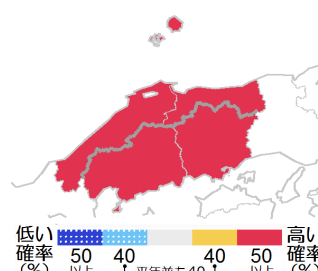
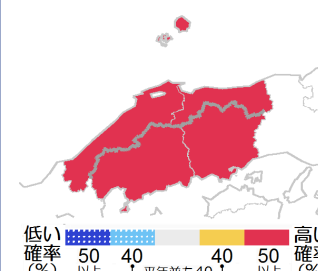
数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の海面気圧（左図）は、日本の南に低気圧が予測されていて、期間の前半は沖縄・奄美を中心に台風や湿った空気の影響を受けやすいでしょう。一方、北海道付近は気圧が高く、期間の前半は北日本や東・西日本日本海側を中心に高気圧に覆われやすいでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、日本付近は北日本を中心に平年より高く、全国的に暖かい空気に覆われやすいでしょう。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

		1 週目 8/1～8/7	2 週目 8/8～8/14	3～4 週目 8/15～8/28
天候		高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
平均気温	中国地方	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並20 高70% 高い見込み	低10 並40 高50% 高い見込み
	数値は予想される出現確率 (%) です	平均気温 (1 週目) 	平均気温 (2 週目) 	平均気温 (3～4 週目) 

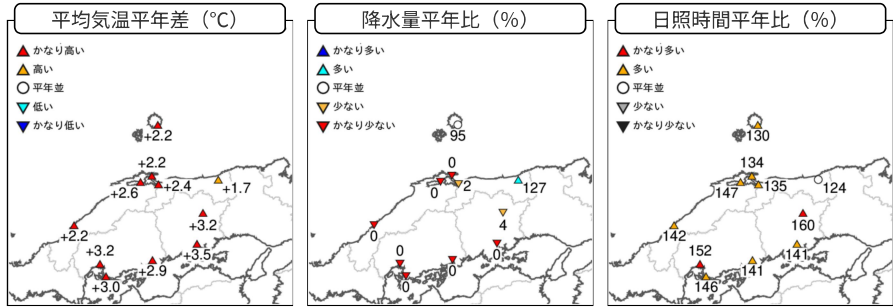
明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い (少ない)、平年並、高い (多い)」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/chugoku1.html>) をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考 (確率予報の解説)」をご覧ください。

最近 1 週間の天候経過



(実況) 7/23～7/29	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
中国地方	+2.6°C (かなり高い)	21% (少ない)	141% (多い)
山陰	+2.2°C (かなり高い)	37% (平年並)	135% (多い)
山陽	+3.2°C (かなり高い)	1% (かなり少ない)	148% (多い)

これらの図において、値に「J」が付く場合は元となるデータの一部分に欠測等が含まれていることを示しています。

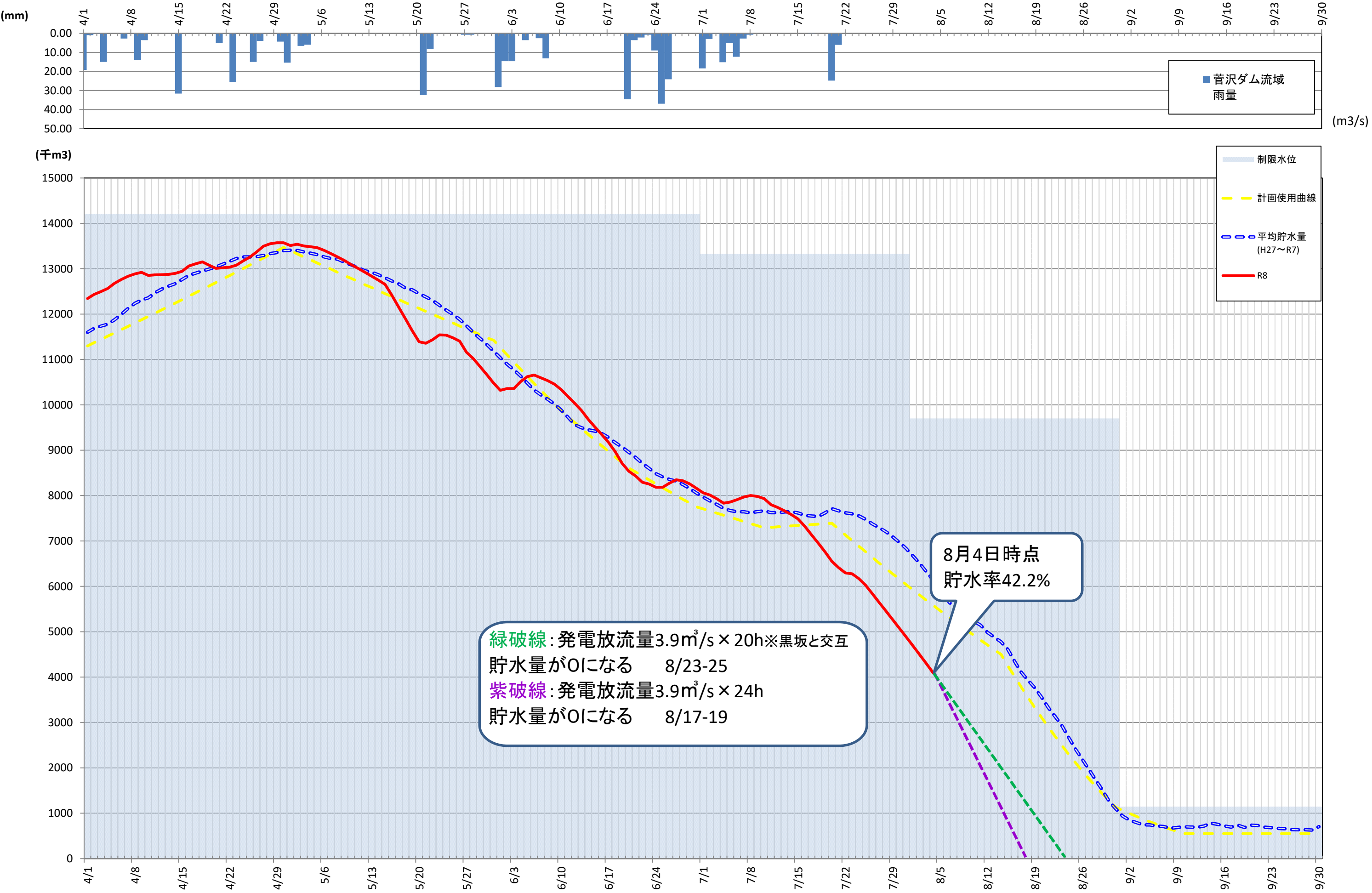
また、「x」となる場合は欠測等により、「//」となる場合は平年値がない等により、値が求められないことを示しています。

参考

確率予報の解説 (ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

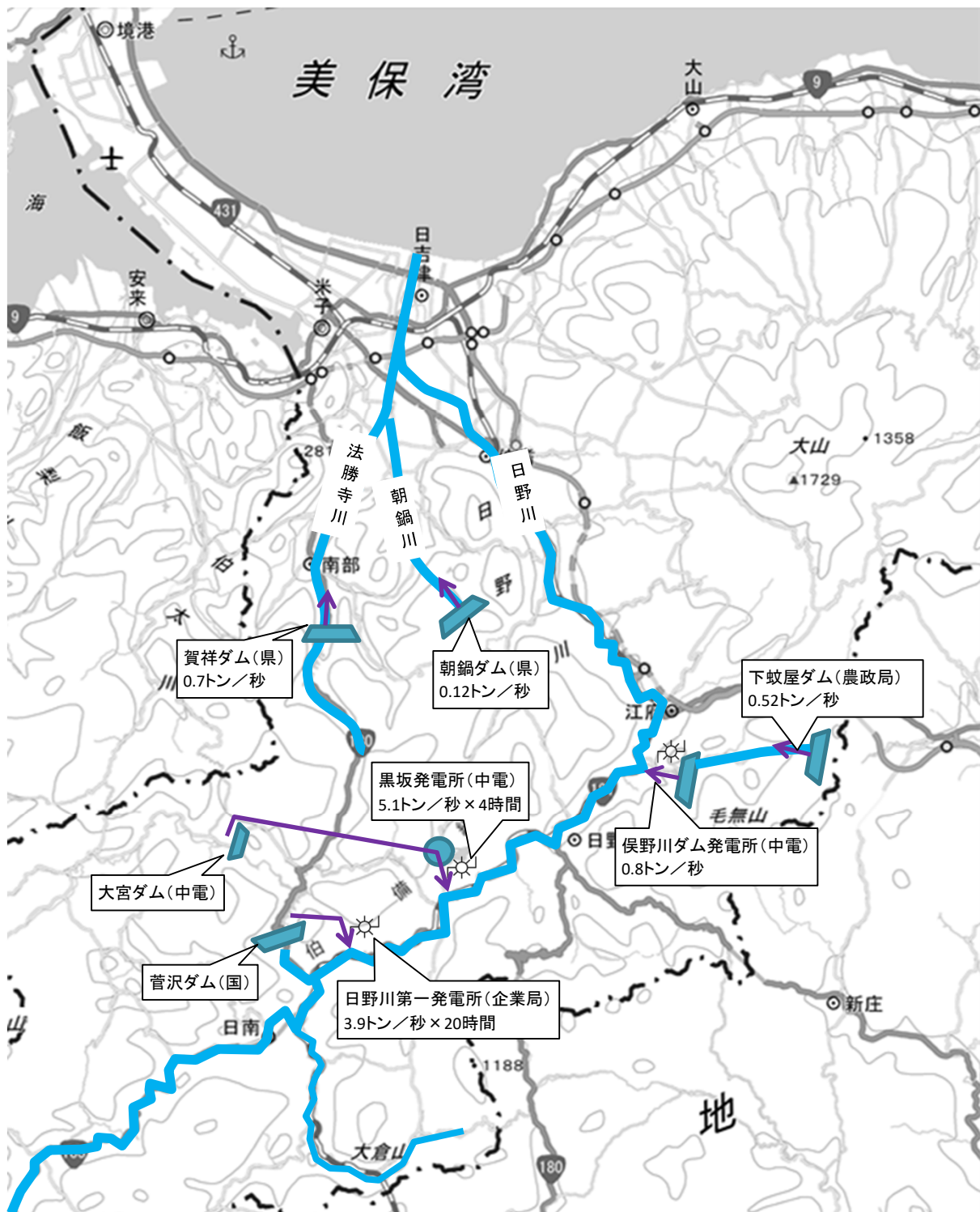
出現確率 (低い (少ない) : 平年並 : 高い (多い))	解説
高い (多い) 確率が50%以上	高い (多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が50%以上	低い (少ない) 見込み

菅沢ダム貯水率の推移



※放流量は8月5日8時現在 黒坂発電所は除く

※放流量は8月5日8時現在 黒坂発電所は除く



今後の取水制限率及び菅沢ダムからの発電放流の運用について

①取水制限率を20%に引き上げる。 菅沢ダムと黒坂発電所の交互運転の継続。

- ・ 8月下旬までダムからの放流が可能。
- ・ 降雨の予測がないため流況の悪化は継続すると考えられる。

②取水制限率を15%の据え置きにする。 菅沢ダムからの24時間発電放流の実施。

- ・ ダムからの放流が8月中旬で終了。
- ・ 下流の流量が増えるのは、夜中の2時～早朝の6時頃と考えられる。

③その他

- ・ ①と②の複合運用案
- ・ 日野川流域の他機関管理のダムからの増放流協力依頼
- ・ その他運用案

日野川渇水調整等の考え方

【渇水状況（事象）】

【目安】日野川堰を越流しなくなる
（魚道＋呼び水≒6m³/s程度の放流量）

【目安】日野川堰の上流水位が11.35mを継続して下回る（3m³/s程度の放流量）
・下流利水者（王子製紙、米川用水）の取水に影響が出る可能性あり

【目安】車尾堰を継続して越流しなくなる
（車尾堰への流量が約1m³/sを切る）
・取水に影響が出始める。
・アユの遡上に支障（日野川漁協） 等

上記事象が見受けられる場合、適宜利水者と連絡を取りながら取水状況等を把握する。

【日野川河川事務所の対応】

渇水調整の事前予告

発電放流量による流況調整
（日野川第1発電所と黒坂発電所の発電放流量調整、交互運転の実施）

現況をみながらの
継続した調整

水利用協議会（幹事会）

情報共有、節水呼びかけ等

水利用協議会

取水制限の実施
（車尾堰で1m³/sの流量を確保するのを目安に制限を検討）

一律10%で開始（R5.3.20決定）

日野川流域水利用協議会渇水対応について

【渇水対応の概要】

- ・車尾堰地点流量に応じて各関係機関が事前行動・情報収集を行う。
- ・協議会において、取水制限実施について協議する。
- ・車尾堰地点日平均流量が $1\text{m}^3/\text{s}$ を下回った段階で取水制限を開始する。
- ・取水制限の開始の率を一律 10% とする。

【運用として対応するもの】

- ・取水制限時の対応について

昨年度同様、今年度以降も対応可能な方のみ即日対応して頂く運用とする。即日対応が難しい方については、即日対応できるよう検討を行う。

- ・企業局の取水制限時の基準値について

ユーザーの状況によって必要水量に変動があるため、渇水対応が必要な状況となった場合に、協議会に諮り決定する。

- ・事務局からの連絡は、メールでの連絡とする。

- ・取水制限時の取水量確認について

取水量報告の数値の確認地点、確認方法を協議会において各利水者と共有する。

- ・取水制限時の流量確認について

従来の日平均流量確認（0時～0時）だけでなく、取水制限時は 12 時～12 時の日平均流量確認も行い、情報共有することで詳細な流況変化の把握に努める。

- ・取水制限率の一時的な緩和と復帰について

降雨により河川流況が一時的に改善した場合に、5%毎を基本に取水制限率を緩和する。改善した流量が低下した場合には取水制限率を元に戻す。これらの判断は速やかな対応が求められるため事務局判断により各利水者に連絡して、実施する。

【その他】

- ・取水制限の緩和の基準について

降雨の状況などから様々なパターンが想定され、一律に定めるのが困難。一時解除とするのか、一段階緩和とするのか、その時の河川流況や降雨予想などから、協議会に諮り決定する。

- ・渇水時における土日祝日の対応について

利水者の体制等の事情から、一律に定めるのが困難。土日祝日に $1\text{m}^3/\text{s}$ を下回る見込みとなった場合は、その時の河川流況等を勘案し、土日祝日の対応を協議会に諮り決定する。

- ・取水制限開始流量の引き上げについて

取水制限開始流量の引き上げについては、今回取水制限開始の率を 10% に引き上げることから、取水制限時の状況をみながら検討する。

取水制限に伴う連絡体制

【 各 利 水 者 】

取水量報告書に前日測定した取水量を記載し、9時までに事務局へメールにて報告する。
土日分の取水量は月曜日の9時までに報告する。

決定された取水制限率により取水する。

【 事 務 局 】

取水量報告により制限水量の超過がないか確認。
報告された取水量により、今後の流況を予測。

車尾堰地点の日平均流量が $1\text{ m}^3/\text{s}$ を越えている場合には、取水制限率据え置きの連絡をメールにて行う。
連絡は13時頃とする。

車尾堰地点の日平均流量が $1\text{ m}^3/\text{s}$ を下回った場合には、翌日の9時から取水制限率を上げる連絡をメールにて行う。
連絡は13時頃とする。

水利用協議会にて決定された段階的な取水制限率により連絡。

取水制限率の一時的な緩和と復帰

これらの判断は速やかな対応が求められるため事務局判断で実施。

【制限率の緩和】

降雨により流況が一時的に改善した場合に、取水制限率を一時的に緩和する。

■条件

- ・車尾堰地点の流量が2 m³/s以上程度かつ、その後も上昇が見込まれる場合を目安とする。緩和は基本的に5 %毎に行います。

■連絡（お知らせはメールで実施）

- ・通常：随時実施。（土日祝日も含む）
- ・夜間：夜間に条件に該当した場合は、翌朝に連絡。

【制限率の復帰】

降雨により一時的に改善した流量が低下してきた場合、取水制限率を元に戻す。

■条件

- ・車尾堰地点の流量が5～6 m³/s程度に低下した場合を目安とする。

■連絡（お知らせはメールで実施）

- ・通常：随時実施。
- ・夜間：夜間に条件該当が想定される場合は、15:00までに連絡。
- ・土日：休日に条件該当が想定される場合は、金曜日の15:00までに連絡。
- ・強化のお知らせをした時間から取水制限を元に戻してください。

日野川流域水利用協議会 渇水対応タイムライン

事前渇水行動計画(日野川)

普沢ダム 貯水量(率) (※2)	車尾堰地点 流量(※1)	渇水の状況	調整の目安	河川管理者	発電事業者	工業用水、水道用水 利水者	かんがい用水 利水者
日平均 5m3/s以上	↓ 渇水発生前	平時	▼渇水調整の事前予告(日平均6m3/s程度)	【適正な河川管理】 ◇河川環境の確認 【事前行動:情報収集】 ◇気象情報など情報収集	【適正な施設管理】 ◇取水・送配水施設の点検・整備 ◇施設等の水回りの整備・点検 【事前行動:情報収集】 ◇気象情報など情報収集	【適正な施設管理】 ◇取水・送配水施設の点検・整備 ◇施設等の水回りの整備・点検 【事前行動:情報収集】 ◇水資源や節水に関する広報 ◇気象情報など情報収集	【適正な施設管理】 ◇施設等の水回りの整備・点検 【事前行動:情報収集】 ◇水資源や節水に関する広報 ◇気象情報など情報収集
				◇渇水調整の事前予告(日平均6m3/s程度)	◇渇水調整の事前予告(日平均6m3/s程度)	◇渇水調整の事前予告(日平均6m3/s程度)	◇渇水調整の事前予告(日平均6m3/s程度)
日平均 5m3/s未満	↓ 自主節水期	日野川堰を越流しなくなる (日野川堰6m3/s程度)	▼発電放流量(時間)調整 (日野川第一発電所、黒坂発電所)	【適正な河川管理】 ◇河川環境の確認、流況の把握 ◇発電事業者との調整(発電放流量、交互運転等) ◇HPIに渇水情報の掲載 【事前行動:情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集	【適正な施設管理】 ◇河川・ダム管理者との調整 ◇発電事業者間での調整 【情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集	【情報提供】 ◇利水者への情報提供、節水呼びかけ 【情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集 【渇水対策の推進】 ◇渇水に備えた体制整備(準備)	【情報提供】 ◇利水者への情報提供、節水呼びかけ 【情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集 【渇水対策の推進】 ◇渇水に備えた体制整備(準備)
		日野川堰を継続して 越流しなくなる		◇水利利用協議会の招集・開催 (車尾堰地点で日平均流量1m3/sを下回る恐れがある場合)	◇気象情報、流況など情報収集 ◇水利利用協議会の参加	◇渇水に備えた体制整備 ◇取水制限時の連絡網の構築	◇渇水に備えた体制整備 ◇取水制限時の連絡網の構築
日平均 3m3/s未満	↓ 渇水調整期	車尾堰を継続して越流しなくなる	▼水利利用協議会(幹事会) ※取水制限実施について事前情報共有 ▼水利利用協議会開催(第1回) ※取水制限実施について協議	【適正な河川管理・情報発信】 ◇適正な利水補給、河川環境の確認、流況の把握 ◇発電事業者との調整(発電放流量、交互運転等) ◇水利利用協議会(幹事会)の招集・開催 ◇HPIに渇水情報の掲載 ◇渇水状況広報 記者発表 ◇取水制限時の連絡網の構築 【事前行動:情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集 ◇水利利用協議会の参加	【適正な施設管理】 ◇河川・ダム管理者との調整 ◇発電事業者間での調整 【情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集 ◇水利利用協議会の参加 【渇水対策の推進】 ◇渇水に備えた体制整備 ◇取水制限時の連絡網の構築	【情報提供】 ◇利水者への情報提供、節水呼びかけ 【情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集 ◇水利利用協議会の参加 【渇水対策の推進】 ◇渇水に備えた体制整備 ◇取水制限時の連絡網の構築	【情報提供】 ◇利水者への情報提供、節水呼びかけ 【情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集 ◇水利利用協議会の参加 【渇水対策の推進】 ◇渇水に備えた体制整備 ◇取水制限時の連絡網の構築
				◇水利利用協議会の招集・開催	◇気象情報、流況など情報収集 ◇水利利用協議会の参加	◇渇水に備えた体制整備 ◇取水制限時の連絡網の構築	◇渇水に備えた体制整備 ◇取水制限時の連絡網の構築
日平均 1m3/s未満	↓ 異常渇水期	車尾堰を継続して越流しなくなる	車尾堰地点日平均流量が1m3/sを下回った段階で取水制限開始 (以降 随時制限量 増) ▼水利利用協議会開催(第●回) ※取水制限強化について随時協議	【適切な河川管理】 ◇渇水対策支那の立ち上げ ◇適正な利水補給、河川環境の確認 ◇発電事業者との調整(発電放流量、交互運転等) ◇被害情報等の収集 ◇取水制限後の取水量確認 ◇HPIに渇水情報の掲載 ◇渇水状況広報 記者発表 ◇慣行水利権者へ節水呼びかけ(市町村対応含む) ◇水利利用協議会の招集・開催	【適正な施設管理】 ◇河川・ダム管理者との調整 ◇発電事業者間での調整 【情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集 ◇水利利用協議会の参加	【渇水対策強化】 ◇工事、上水 10%取水制限 ◇利水者への節水呼びかけ等の強化 ◇利水者との調整強化 【情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集 ◇被害状況の収集 ◇水利利用協議会の参加	【渇水対策強化】 ◇風水 10%取水制限 ◇利水者への節水呼びかけ等の強化 ◇番水等の実施強化 ◇バルブ調節、ゲート調整強化 【情報収集】 ◇気象情報、流況など情報収集 ◇被害状況の収集 ◇水利利用協議会の参加

※1 車尾堰地点流量とは日野川堰、法勝寺川堰の流量を加えたものから最下流の利水者が取水した後の流量です。

※2 普沢ダム貯水量(率)について、普沢ダム貯水量での運用は行っていないため設定しておりません。

注1 このタイムラインは、渇水被害を最小限にとどめるため「車尾堰地点流量」に応じて想定される対策、行動を示したものです。

注2 基本的にこのタイムラインに基づき各機関が行動することとしますが、各機関のその時の状況及び立場により適宜行動を変えることも差し支えないこととします。

日野川湧水調整 取水制限検討用模式図(※取水口の右岸・左岸は反映していない)

対象期間：8月1日～8月31日

日野川 ↓		許可取水量		最大取水量 (過去5年平均)		取水制限率					
		※取水制限の基準値				10%	15%	20%	25%	30%	40%
佐野川堰	佐野川用水	1.542 m3/s	1.337 m3/s	1.203 m3/s	1.136 m3/s	1.070 m3/s	1.003 m3/s	0.936 m3/s	0.869 m3/s	0.802 m3/s	
	四ヶ村用水	0.366 m3/s	0.352 m3/s	0.317 m3/s	0.299 m3/s	0.282 m3/s	0.264 m3/s	0.246 m3/s	0.229 m3/s	0.211 m3/s	
尾高堰	尾高井手用水	0.714 m3/s	0.700 m3/s	0.630 m3/s	0.595 m3/s	0.560 m3/s	0.525 m3/s	0.490 m3/s	0.455 m3/s	0.420 m3/s	
	五千石井手用水	0.955 m3/s	0.945 m3/s	0.851 m3/s	0.803 m3/s	0.756 m3/s	0.709 m3/s	0.662 m3/s	0.614 m3/s	0.567 m3/s	
箕蚊屋用水	箕蚊屋用水	4.235 m3/s	4.208 m3/s	3.787 m3/s	3.577 m3/s	3.366 m3/s	3.156 m3/s	2.946 m3/s	2.735 m3/s	2.525 m3/s	
	県企業局工業用水	2.000 m3/s	0.325 m3/s	0.293 m3/s	0.276 m3/s	0.260 m3/s	0.244 m3/s	0.228 m3/s	0.211 m3/s	0.195 m3/s	
米子市水道	米子市水道	0.261 m3/s	0.075 m3/s	0.068 m3/s	0.064 m3/s	0.060 m3/s	0.056 m3/s	0.053 m3/s	0.049 m3/s	0.045 m3/s	
	米川用水	7.770 m3/s	7.770 m3/s	6.993 m3/s	6.605 m3/s	6.216 m3/s	5.828 m3/s	5.439 m3/s	5.051 m3/s	4.662 m3/s	
王子製紙工業用水	日：6.119 m3/s	6.119 m3/s	5.507 m3/s	5.201 m3/s	4.895 m3/s	4.589 m3/s	4.283 m3/s	3.977 m3/s	3.671 m3/s		
	法：1.651m3/s	1.651 m3/s	1.486 m3/s	1.403 m3/s	1.321 m3/s	1.238 m3/s	1.156 m3/s	1.073 m3/s	0.991 m3/s		
車尾堰	王子製紙工業用水	日：1.111 m3/s	1.107 m3/s	0.996 m3/s	0.941 m3/s	0.886 m3/s	0.830 m3/s	0.775 m3/s	0.720 m3/s	0.664 m3/s	
				1.682 m3/s	2.523 m3/s	3.364 m3/s	4.205 m3/s	5.046 m3/s	5.887 m3/s	6.728 m3/s	

※過去5年間の最大取水量の平均を基に取水制限の基準値を決定